

第1回 世界母乳の日(8月1日)の制定を記念して

**「母乳をすすめるための  
産科医と小児科医との集い」**

1992年8月1日～2日  
大阪市 大阪ターミナルホテルにて

# 刊行にあたって

国立岡山病院名誉院長 山内逸郎

現在、地球上の多くの国々で、出生直後の新生児の取り扱いが、間違った方向で行なわれている。生まれたら出来るだけ早くから母乳を与え、出来るだけ回数多く母乳を与えなくてはならない。そして、母子は離してはならないのに、新生児は新生児室に一括収容されてしまい、早期初回授乳、早期頻回授乳からは、程遠いようなケアが実施されている。

さらに多くの新生児は脱水予防の名目のもとに、早々と人工乳が添加されている。これが実態なのであるから、その惨状はまさに目を被うばかりであると言っても過言ではない。

とはいえ、これが総ての全国産科医の姿ではない。数多い全国の産科医の中には、30年も前から、母乳だけで新生児を保育している産科医も決して少なくないのである。ところが、彼等は自分の経験、意見を専門医会や学会で発表することは極めてまれで、特に理想的にナチュラルなチャイルド・ケアをなさっておいでの方は遠慮深くて、

PR活動はなさない。

このたび、世界母乳連盟や国際母乳連盟から、8月1日の「第1回世界母乳の日」制定を記念して、日本でも何か有意義な会をやらしてもらえないか、という連絡が入ったのを機会に、このように母乳主義で周産期医療を以前から実施していらっしゃる実地産科医の声を聞かせていただきたいと考え、「母乳をすすめるための産科医と小児科医の集い」を挙行することにした。

幸い多数の産科医、小児科医の御出席を得、8月1日、2日と深夜にいたるまで、活発な意見交換が行われた。これまで日本の医学会では、産科医と小児科医とが膝を突き合わせて母乳保育の「実地」について語り合うという機会はなかったので、非常に有意義な企画であった。

当日の意見の内容を少しでも多くの産科医、小児科医に御理解いただきたくて、あえて記録を刊行した次第である。御批判をいただければ幸いである。

## 〈第1部〉

### 「世界母乳の日」制定を記念して

あいさつ 国立岡山病院名誉院長 山内逸郎（児）

ユニセフ・メッセージ ユニセフ事務長 J・P・グラント

（代読 ユニセフ日本駐在事務所 澤 良世）

病院産科としての母乳保育 PL病院 北村幸太郎（産）

開業産科医院と母乳 富田産婦人科医院 富田 哲（産）

病院新生児科と母乳 聖マリア病院 橋本武夫（児）

開業小児科医と母乳 ひさいこどもクリニック 澤田啓司（児）

ジャーナリストのみた日本の母乳事情 朝日新聞社 科学部 田辺 功

助産婦と母乳 日本助産婦会会長 多賀琳子（助）

（代読 石塚助産院 石塚和子（助））

人乳と語り伝え 聖路加国際病院 山本高治郎（児）

地域医療と産児連携 さいぐさ小児科医院 七種啓行（児）

地域医療と小児科医 館小児科医院 館 一矩（児）

母乳育児支援団体 母乳育児をひろめる会 群馬県 木村祥子（児）

ラ・レーチェ・リーグ・インターナショナル

ラ・レーチェ・リーグ・インターナショナル 日本代表神戸リーダー キャロル松原

母乳育児サークル ラ・レーチェ・リーグ・インターナショナル大阪リーダー 川谷和子

国際医療協力と母乳 国立医療センター 国際医療協力部 喜多悦子（児）

## 〈夕食会での自己紹介〉

築山医院 築山公一（産）

宮原クリニック 宮原通義（産）

井上産科婦人科 井上哲朗（産）

前橋協立病院 北原賢二（産）

国立岡山病院 中山真由美（児）

渡辺産婦人科医院 宮本ヨシノ(助)  
渡辺産婦人科医院 北村秀子(助)  
渡辺小児科医院 渡辺昭彦(児)  
宮下小児科医院 宮下晴夫(児)  
浜田病院 浜田 徹(産)  
細木病院 浜田義文(児)  
前橋赤十字病院 竹内政夫(児)  
鳥山小児科医院 木村祥子(児)  
根岸婦人科小児科医院 根岸和子(児)  
重城産婦人科小児科医院 重城政枝(児)  
上大類病院 矢島晶子(児)  
日本小児科医会理事広報担当 中尾聰子(児)  
笠松産婦人科小児科 笠松堅實(産)  
大平産婦人科医院 大平源吾(産)  
広岡小児科医院 広岡 豊(児)  
岡村産婦人科医院 岡村博行(産)  
P L 病院 北村幸太郎(産)  
高田医院 高田恭宏(産)  
長崎大学医学部付属病院 福田雅文(児)  
市立熊本市民病院 近藤裕一(児)  
新宅産婦人科病院 山縣威日(産)  
聖隷浜松病院 犬飼和久(児)  
香川医科大学 伊藤 進(児)

## 〈第2部〉

### 大学病院・病医院産科と母乳

#### 大学病院産科と母乳

新潟大学医学部 吉沢浩志(産)  
大阪市立大学医学部 荻田幸雄(産)

## 病医院産科と母乳

- 院内に粉ミルクを置かない 関塚医院 関塚正昭 (産)
- 妊婦・褥婦の乳房にもっと関心を 聖バルナバ病院 松岡松男 (産)
- 母親たちのサークルで育児の楽しさを 浜田病院 浜田 徹 (産)
- 産科医と小児科医の緊密な連携を 富山県立中央病院 舘野政也 (産)
- 小児科医といっしょにすすめたい 公立小浜病院 加藤栄一 (産)
- 自然分娩と母乳 吉村医院 吉村 正 (産)
- 当院の母乳保育への取り組みについて 笠松産婦人科小児科 笠松堅實 (産)
- 母乳育児について 井上産科婦人科 井上哲郎 (産)
- 医学教育の中での母乳 東邦大学医学部 多田 裕 (児)
- 母乳はケア次第 新宅産婦人科病院 山縣威日 (産)
- 長期母乳栄養をめざして 大平産婦人科医院 大平源吾 (産)
- ソフロロジー分娩と母性の確立 岡村産婦人科医院 岡村博行 (産)
- 母乳管理法を取り入れる 竹山病院 小川弘良 (産)
- 私たちの病院の授乳指導外来 市立新潟市民病院 徳永昭輝 (産)
- 母乳育児は母の願い 淀川キリスト教病院 椋棒正昌 (産)
- 産婦人科医院 めぐみクリニック 大崎勝三 (産)

## 〈第3部〉

### 小児科医と母乳

- 母乳から生活までの悩み応える 札幌天使病院 南部春生 (児)
- 群馬県における母乳推進運動 前橋赤十字病院 竹内政夫 (児)
- 読んでほしい「はじめての母乳育児」 広岡小児科医院 広岡 豊 (児)
- 未熟児を産まない教育を 日赤医療センター 赤松 洋 (児)
- 小児科医のところでミルクになることも 宮下小児科医院 宮下晴夫 (児)
- 総合病院での母子同室 済生会下関総合病院 金原洋治 (児)
- 母性(母乳)教育 日本小児科医会理事広報担当 中尾聡子 (児)
- 母乳や子育てにやさしい社会を 東邦大学医学部 多田 裕 (児)
- 産科医と小児科医のジョイントコンサート 国立京都病院 石田勝正 (小整)

母乳保育は母子に自然に必要なこと 仙台赤十字病院 中江信義 (児)

スタッフ全員に母乳育児の理解を 上大類病院 矢島晶子 (児)

母乳は神がつくったもの 吉村医院 吉村 正 (産)

山内先生の行動力に感服 国立岡山病院 山内芳忠 (児)

完全母乳育児をめざして 国立長崎中央病院 吉永宗義 (児)

大学病院での完全母子同室 長崎医学部付属病院 福田雅文 (児)

命を助けるだけから変わってきた医学 市立熊本市民病院 近藤裕一 (児)

医学教育の中で比重の軽い母乳保育 香川医科大学 伊藤 進 (児)

母乳で育てられるべく生まれてくる 大阪府立母子保健総合医療センター 竹内 徹 (児)

地域ぐるみで取り組む重要性 長岡赤十字病院 沼田 修 (児)

小児科医と産科医との連携を 弓狩小児科医院 弓狩華吉 (児)

## 〈朝食会〉「母乳をすすめるための産科医と小児科医の集い」の 今後の方向性を探る

### 〈誌上参加〉

母子同室と自然な授乳—できるだけ介入しない医療を あわのクリニック 栗野利春 (産)

育児の中の自然な当たり前のことのひとつが母乳 白塚診療所 井岡大義 (産)

当院の基本方針と母乳保育—母乳育児のために個室の母子同室制

石井第一産科婦人科クリニック 石井廣重 (産)

生まれて最初の体験—授乳の大切さをよくわからせること 桑田産婦人科医院 桑田恒義 (産)

完全母子同室が母親の心をかえる 勤医協札幌病院 瀬川雅史 (児)

### 〈資料〉

母乳育児成功のための10カ条

赤ちゃんにやさしい病院 (Baby Friendly Hospital)

子どもの権利に関する条約 (抜粋)

新聞資料

### 〈参加者名簿〉